

研究会だより ～3年生「総合的な学習」授業研究より～

平成 15 年 6 月 30 日

3年生の先生方、授業提供ありがとうございました。昨年度末に見直した単元計画を子どもたちの実態に合わせて修正し授業を仕組んでくださいました。今後の総合的な学習の進め方を示して下さったように思います。

つけたい力に関わって

<成果>

- * ほめてあげたい児童（ex.最初から最後までじっと話を聞く姿、端的に書くことをまとめている姿など）がたくさんいる。
- * 単元構想がすばらしい。「野菜作りを通しての図鑑作り」は、自然体験が軸となっている。その中で発見が学習課程の中に位置づけられる学習活動である。図鑑を作るという出口が明確であることで、子どもたちに見通しを持たせられる。
- * 掲示、児童の観察カードへの朱書きなど環境整備がなされている。
- * つけたい力は学級、学校の課題を受けて示されるべきである。学校全体で3つの柱があって、その中から本時は、「共同力」「表現の技能に関すること」が挙げられている。
- * 評価の良さ（ねらいに合った評価がなされていた。）
 - ・ Aさんが「2ページできた。」ことを「協力し、相談してやったからできたんだね。」と評価された。
 - ・ 個人名を挙げての評価。（Bさんたちのよいところを受け入れていた。Cグループ）
 - ・ 「メモ」に対する赤ペン評価。
 - ・ 野菜の収穫できたグループは誇らしげな姿だった。あの姿が他のグループの目標となる。

<課題>

- * グループ毎の活動では、子どもたちの課題意識が重要である。子どもの気付きを生み出す導入の仕方を工夫したい。（ex.今日はどんなことをやるの？）そのことによって、本時の活動内容をはっきりさせたい。
- * 今、何をやらなければならないのかをはっきりと子どもに持たせる手立てが必要。黒板に各グループの進み具合がわかるように（子どもも教師も）示せるようにするとよい。そうすることで、支援をするポイントが見えてくる。
- * つけたい力の焦点化をしていくこと。一時間の授業の中でひとつに絞りたい。

「自分が担任だったらどのように進めていくのか。」この課題に沿った話し合いができたように思います。総合的な学習を進めていくに当たっては、個別またはグループ別の活動をどう支援していくかがポイントとなると思います。今回の研究会で話し合われたことをもとに、各学年で進め方を考えてみましょう。

4年生からは、年間を通しての課題作りを体験を軸に進めているという報告がありました。体験を軸に考えていくことを常に頭において取り組んでいきたいですね。ありがとうございました。

<話すこと聞くことについて>

1学期に取り組んだこと（成果と課題）を各学級でまとめ、2学期の課題を絞って生きたいと思います。7月中にまとめます。お願いします。